

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 26 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	花いっぱい運動推進事業費			
担当課係名	生涯学習 課	生涯学習 係	作成者	浅利 大輔
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備		
	主要施策	花いっぱい運動の推進		96
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	1 目 社会教育総務費
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直 営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託 (全部) <input type="checkbox"/> 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域住民、団体等の理解と協力を得ながら、生活環境の美化と地域のコミュニケーションづくりのための運動を展開する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	花いっぱい運動を通じて花や自然を慈しみ、家庭と地域の融和を図りながら心通う地域社会を目指し、訪れる人々を花でもてなすことを趣旨とする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	6月第1日曜日、国道105号沿い道路花壇 (西木町堂村~西荒井間片側4.6km総延長9.2km) にマリーゴールド約5万9千本の植栽。今年度より花の販売や寄せ植え講座などを盛り込んだ「花の市」また、仙北市花のある街づくりコンクールを新たに実施。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	25年度実績	26年度実績	
効果	活動指標	一斉植栽の開催	目標	回	1	1
			実績	回	1	1
			達成度	%	100.0%	100.0%
	成果指標	花のある街づくりコンクールの開催 (応募件数)	目標	件	0	20
			実績	件	0	26
			達成度	%	#DIV/0!	130.0%
投下コスト	項 目		総事業費	25年度決算額(千円)	26年度決算額(千円)	
	事業費 (人件費を除く) (A)		—	3,803	3,717	
	人 件 費 (B)		—	1,638	1,708	
	職 員 数		—	0.20	0.20	
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,192	8,540	
	(A) + (B) 投下コスト		—	5,441	5,425	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	0	0
		県 支 出 金		—	0	0
		地 方 債		—	0	0
		そ の 他		—	0	0
一 般 財 源		—	5,441	5,425		
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	5,441,000	5,425,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	188	191	

【事務事業の今までの成果】

毎年、道路花壇施設整備をシルバー人材センターと委託契約を結び、植栽前の花壇の耕起・床替え、植栽後の施肥・除草作業から花殻の撤去作業までを委託している。また、2軒の農家に一斉植栽の苗（正植用と補植用）と集落等へ配布する苗の育苗を委託している。
6月第1日曜日に開催される国道105号沿い道路花壇一斉植栽には主に西木地区住民や小中学生、市内団体等の協力をいただき、延べ9.2kmの道路花壇にマリーゴールドの植栽を行い、7～10月までの間行き交う人々を和ませている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	西木地区住民の多数参加と事業の継続を要望

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	平成25年度に一度地域住民の方を対象に今後についての意見交換会を行ったが、事業の継続を望む声が多かった。 新たな賑わいを創出するため、一斉植栽と同日に開催した「花の市」や市内の個人・団体・企業で育てる花壇を対象とした「花のある街づくりコンクール」を新たに企画し花いっぱい運動の推進を図っている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）		

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	植栽後の手入れに住民の協力が必要なので、目的、成果、称賛を怠ることなく。花のある街づくりコンクールは、市民に事業内容を大いに知らせ参加者を増やす必要がある。また、結果を広報でも庭の画像の掲載が必要。

